

◎アドナ錠・▼散 [内], ◎アドナ注 (静注用) [注]

【重要度】 【一般製剤名】カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム水和物 Carbazochrome Sodium Sulfonate Hydrate 【分類】血管強化・止血剤
【単位】◎30mg/錠, ▼10%散, ◎50mg/A [10mL], ▼100mg/A [20mL]
【常用量】■内服: 30~90mg/日 ■静注: 25~100mg/日
【用法】■内服: 分3 ■注射: 点滴静注
【透析患者への投与方法】尿中未変化体排泄率が高いため減量適用も可能と思われるが, 常用量を用いても問題がない (5)
【保存期 CKD 患者への投与方法】設定されていない (1)
【その他の報告】尿中未変化体排泄率が高いため, 減量適用も可能と思われるが常用量を用いても問題がない (5)
【特徴】毛細血管の抵抗性を増強し, 透過性を低下して強力な止血作用を示す。止血効果は侵蝕性及び濾過性出血に強く, 破綻性出血には弱い。血管収縮, 血圧上昇作用はなく血液凝固は促進しない。
【主な副作用・毒性】ショック, アナフィラキシー, 過敏症, 食欲不振, 胃部不快感など
【tmax】0.5~1hr (1)
【代謝】アドレノクロムあるいはカルバゾクロムは, それぞれ還元体である, 5,6-dihydroxy-N-methylindole とその硫酸抱合体あるいは5-amino-6-hydroxy-N-methylindole とその硫酸抱合体に代謝される (1) カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム水和物もカルバゾクロムと同一の代謝経路であると推定 (1)
【排泄】投与量の75%が未変化体として比較的速やかに尿中に排泄される (1) 【CL】600mL/min (1) 【腎CL】450mL/min (1)
【t1/2】1.5hr (1)
【蛋白結合率】データなし (1) おそらく低いと思われる (5)
【Vd】9.3L/man (1)
【MW】376.32
【透析性】データなし (1)
【TDMのポイント】TDMの対象にはならない 【pKa】1.49, 3.51, 11.3 (1)
【主な臨床報告】腎生検後に全例に必要とはいえない (沈 載紀, 他: 日腎会誌 62: 45-51, 2020)
【更新日】20240729

※正確な情報を掲載するように努力していますが, その正確性, 完全性, 適切性についていかなる責任も負わず, いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし, それらを利用した結果, 直接または間接的に生じた一切の問題について, 当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は, 日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。